

果樹カイガラムシ類情報 第1号

平成21年4月28日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

モモのクワシロカイガラムシ・ウメシロカイガラムシの 防除適期は5月10日前後です！

1 モモのマルカイガラムシ類の分布状況

モモを加害するマルカイガラムシ類は主にクワシロカイガラムシとウメシロカイガラムシの2種です。この2種の形態はそっくりで、顕微鏡で見ないと区別ができません。

愛知県の5地域における両種の分布状況を平成21年2月に調査した結果、クワシロカイガラムシが多く、犬山・扶桑地域ではウメシロカイガラムシとの混生もみられました(表1)。

両種は発育日数等に若干の違いがありますが、防除の面からは特に区別する必要はありません。

表1 クワシロカイガラムシとウメシロカイガラムシの調査地点数

地域	クワシロ	ウメシロ	クワシロ・ウメシロ	調査地点数
豊橋	6			6
豊田	5	1		6
小牧・春日井	4	2		6
犬山・扶桑	1	1	4	6
長久手		1		1

クワシロ:クワシロカイガラムシ ウメシロ:ウメシロカイガラムシ

2 昨年の発生消長

昨年の豊田市のクワシロカイガラムシと長久手町のウメシロカイガラムシのふ化中央値(当世代が50%ふ化した日)は5月8日から5月11日でした(表2)。

表2 昨年の豊田市と長久手町におけるクワシロカイガラムシとウメシロカイガラムシのふ化中央値

(平成20年)

世代	豊田市舞木町		長久手町
	クワシロカイガラムシ		ウメシロカイガラムシ
	ほ場A 実測日	ほ場B 実測日	実測日
第1世代	5月9日	5月11日	5月8日

3 現在の状況と発生予測

長久手町のモモほ場ではウメシロカイガラムシのふ化が始まりました。

JPP-NETを利用したクワシロカイガラムシの今年の発生中央値の予測日は名古屋市が5月10日、豊橋市が5月12日、豊田市が5月15日です。

4 発生の確認と防除

発生時期は地域やほ場によって異なりますので、自分で発生を確認することが重要です。マルカイガラムシ類が寄生している部位に白色のビニールテープを巻いて、その上から両面テープを巻いたり(もしくは粘着スプレーで粘着剤を塗布)、青色粘着板(商品名:ホリバー)を設置すると(図1)、捕殺されたオレンジ色の幼虫がルーペで確認できます(図2)。



図1 ふ化確認用トラップ



図2 ウメシロカイガラムシのふ化幼虫(体長0.25mm)

マルカイガラムシ類の防除適期はふ化直後の幼虫時期です。特に第1世代のふ化期は徹底防除を図るうえで最も重要な防除時期です。アプロードフロアブルなどで、ふ化中央日前後に防除しましょう。